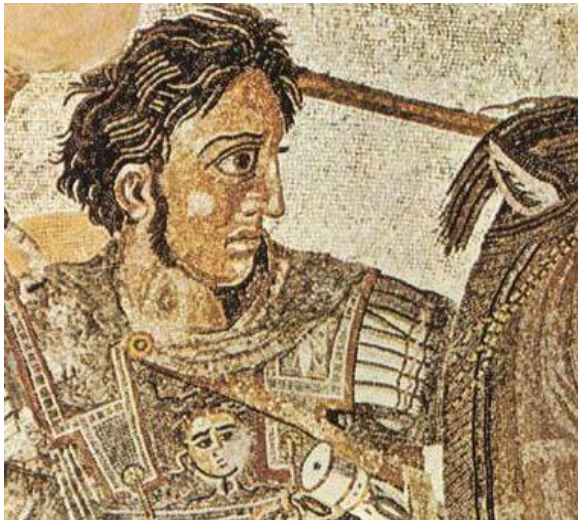


20歳でマケドニア王国を継承した[アレクサンドロス大王]。

こんにちは。進路係です。早くも6月ですね。

紀元前4世紀にヨーロッパのマケドニア王国を若干20歳で継承し、東方遠征でギリシアからインダス川流域までを支配したのがアレクサンドロス大王です。大事業を成し遂げた彼の逸話は多く、そのどれが実話なのかは定かではありませんが、大物らしい名言が残されています。例えば、彼はその東方遠征にこれから行くぞという出陣式の宴会で、気前よく部下たちに領地や森林など財産を配りまくりました。さすがに部下が、「そんなことをしていたら王には何も残りません。」と言ったところ、アレクサンドロスは「**私には希望がある。**」と言ったんだとか。このとき22歳。どうですか、年齢が近い皆さん、共感できそうですか？



県総体に挑む人、定期演奏会の準備をする人、ぎんが祭に向けて準備する人など、それぞれが様々な環境に身を置いていると思います。時間が限られている中で、焦る気持ちもあるでしょうが、それぞれの環境で力を尽くしてください。特に3年生は入学以来の集大成ですね。これまで、誰にも見られていなくても、気にも留められていなくても、目指すところを追いかけて届くよう、一心に羽ばたいてきた、一生懸命取り組んできたことが一つの形になるとよいですね。でも、そういう誰も知らないと思っていた

努力も、実は立木の陰からコッソリ見ていて応援してくれていた人がいるはずですよ。よく「一人じゃない」という言葉を聞くとと思いますが、それは間違いではないし、理想論でもないです。そういう人たちの思いに、少しだけ背中を押してもらいつつ、自分の積み重ねてきた努力を信じて、それぞれの場所で活躍してください。

1年生や2年生は、そういう3年生の姿を、ソーシャルディスタンスをしっかりととりつつも、是非近くで見て、色々な気付きをしてほしいと思います。自分一人の体験で学べることには限界があります。他の人の体験を他人事と思わずに受け取ってほしいと思います。また、3年生の背中を少し押してあげられる存在であってほしいと思います。

アレクサンドロス大王は、当時としては、**ありえないストーリーを描いてみせました。**この社会状況で制約が多くなる中、限られた時間で、皆さんがどんなストーリーを描いていくのか、見守っていきたいと思います。

進路指導的な話をすると、こういう未曾有の状況の中で、**高校生である皆さんが、どんなことを考えて、どんな行動をしたのか、**ということが大事です。ただ単純に試合に勝った、負けたとか、賞を取った、取れなかった、ということではなく、**皆さんが様々な困難をどう乗り越えたのか、**ということを、進学先や就職先は求めてきます。ただ、進学のためにこういう思考をするように、ということではなくて、今後生きていくためにこういう思考を身につけてほしいと思います。

7月には大学などが2022年度入学者選抜要項を出し始めます。どんな人材が求められているのか、3年生はもちろん、1年生も2年生も、どこの大学のものでもよいからのぞいてみてください。